

令和7年度「一般選抜（前期日程）」

出題の意図

「数学（文系）」

- ・ 各学部・学科の試験科目については、入学試験要項等を参照してください。
- ・ 出題の意図に関する質問や問合せには一切回答いたしません。

出題の意図

試験日	2025年2月3日
教科・科目名	数学（文系）

I	(i) 2次方程式の解と係数の関係の基本的な理解度を測る問題です。 (ii) 三角比の三角形への応用に関する図形的な知識を問う問題です。 (iii) 確率の基本的な問題です。論理的に数え上げることができるかどうかを確認しています。
II	(i) 不等式の表す領域を使って、最大値を求める問題です。領域を正確に把握し、与えられた関数が、領域のどの点を通る場合に最大になるかを判断することが求められます。 (ii) 常用対数の応用に関する基本的な知識を問う問題です。
III	微分と積分の融合問題です。問題文に書いてある図形的な状況を正確に把握し、要領よく計算する必要があります。記述問題であるため、単に答えだけではなく、解答に到る道筋を与えられたスペースに簡潔に説明することが求められます。

出題の意図

試験日	2025年2月4日
教科・科目名	数学（文系）

I	(i) 三角比の三角形への応用に関する図形的な知識を問う問題です。 (ii) 2次関数のグラフについて基本的な知識を問う問題です。 (iii) 集合の要素の個数を論理的に数え上げることができるかどうかを問う問題です。
II	(i) データの分析の平均、標準偏差に関する基本的な知識を問う問題です。 (ii) 三角関数の最大・最小を2次関数に帰着させる問題です。三角関数の基本的な公式や合成についての理解を確認しています。
III	微分と積分の融合問題です。放物線と接線の位置関係を正確に把握し、要領よく計算する必要があります。記述問題であるため、単に答えだけではなく、解答に到る道筋を与えられたスペースに簡潔に説明することが求められます。

出題の意図

試験日	2025年2月5日
教科・科目名	数学（文系）

I	(i) 放物線の平行移動についての理解度を測る問題です。 (ii) 場合の数を論理的に数え上げることができるかどうかを問う問題です。 (iii) 常用対数の基本的な性質の理解度を測る問題です。
II	(i) 円と直線の位置関係の問題です。要領よく計算することが求められます。 (ii) 2次方程式と三角関数の融合問題です。解と係数の関係や三角関数の基本的な知識を確認しています。
III	微分と積分の融合問題です。増減表をきちんと書き、グラフの概形を正確に描くことが必要です。記述問題であるため、単に答えだけではなく、解答に到る道筋を与えられたスペースに簡潔に説明することが求められます。

出題の意図

試験日	2025年2月6日
教科・科目名	数学（文系）

[I]	(i)条件付き確率の基本的な理解を試す問題です。 (ii)2次方程式の判別式や解と係数の関係について基本的な知識を試す問題です。 (iii)三角関数の合成についての基本的な理解を試す問題です。
[II]	(i)対数関数の最大・最小を2次関数に帰着させて考える問題です。対数関数と2次関数の基本的な理解が試されています。 (ii)三角形の内角の二等分線の性質と余弦定理の理解を試す問題です。
[III]	微分と積分の融合問題です。問題文に書いてある図形的な状況をどのように定式化するかを考えさせるのがねらいになっています。記述問題であるため、単に答えだけではなく、解答に到る道筋を与えられたスペースに簡潔に説明することが求められます。

出題の意図

試験日	2025年2月11日
教科・科目名	数学（文系）

[I]	(i) 2次関数の最大・最小について、基本的な理解度を測る問題です。 (ii) 場合の数を論理的に数え上げて、確率を求める技術を問う問題です。 (iii) 正四面体の性質の理解のために三角比を応用できるかどうかを問う問題です。
[II]	(i) 対数関数の最大・最小を2次関数に帰着させて考える問題です。対数関数と2次関数の基本的な理解度を確認しています。 (ii) 多項式の因数定理についての理解度を測る問題です。
[III]	微分と積分の融合問題です。絶対値の定義の通りに場合を分けて、グラフの概形が正確に把握できるかどうかを確認しています。記述問題であるため、単に答えだけではなく、解答に到る道筋を与えられたスペースに簡潔に説明することが求められます。